

普及活動情勢報告（令和 7 年 8 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

震災対応タンクへの更新で地域防災へ ～ J A 高知県香美地区各部会反省検討会～



熱心に話を聞く参加者

7 月 2 日～31 日、J A 高知県香美地区でピーマン部会など 5 部会が反省検討会を開催し、計 65 名が参加しました。

農業改良普及課は、重油流出事故に備えた日頃のメンテナンスの大切さと南海トラフ地震に備えた震災対応タンクへの更新の重要性について啓発しました。また、香南市農林水産課は、燃料タンク対策事業など、補助事業について説明しました。

参加者からは「タンク削減区分の活用方法について知りたい」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して農業用燃料タンク対策など防災の取り組みについて支援します。

パック詰めはもう限界。袋で課題を克服しよう ～ 県域ししとう部会～



袋詰めへの切り替えについて
意見交換する参加者

7 月 23 日、J A 高知県が県域ししとう部会を開催し、生産者及び関係機関 34 名が参加しました。

会議では J A から販売概況等の報告に加え、県域の課題であるパック詰めへの労働力不足対策として、袋詰めへの切替えが提案されました。農業改良普及課は、現地試験に基づいた経費等の試算結果を説明しました。

参加者からは切替えに前向きな意見が出され、今後、各地区で提案説明と意見集約を進め、次回県域部会で方針を決定することを確認しました。

農業改良普及課は、今後も J A と連携し産地課題の解決に取り組みます。

直販に向けた栽培研修を実施 ～ 菰生の里講習会～



話を聞く参加者

7 月 29 日、香美市の協同組合「菰生（にろう）の里」が栽培講習会を開催し、組合員 16 名が参加しました。

講習会では、種苗会社からおすすめ野菜の紹介と基本的栽培方法の話がありました。農業改良普及課は、高温対策と葉面散布剤の使い方について説明した後、農薬の適正使用や熱中症への注意喚起を行いました。

参加者からは高温期のかん水方法等について質問がありました。

農業改良普及課は、今後も直販の活性化と出荷者のやりがい向上を支援していきます。

黒枯病リスクの振り返り！ ～ J A 高知県香美地区ピーマン部会反省検討会～



説明を熱心に聞く
生産者

7月30日、J A 高知県香美地区ピーマン部会が反省検討会を開催し、21名が参加しました。

農業改良普及課は、S A W A C H I で実装された病害予測機能を活用し、栽培期間中の黒枯病リスク値の推移と実際の管理を振り返りながら病害対策について説明しました。

参加者からは「自分のハウスでも黒枯病が出ていたので、湿度の推移を確認したいと思った」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携してピーマンの収量向上につながる取組を推進します。

新たに指導農業士が認定されました ～ 県内初の夫婦での認定～



知事に決意表明する
新規認定者

8月8日、高知会館で農村女性リーダー、青年農業士及び指導農業士の合同認定証授与式が開催され、管内からはニラを栽培する指導農業士2名(夫婦)が新たに認定されました。

農業改良普及課は、関係機関と協力し、候補者の選定、申請書類、推薦に係わる意見書の作成を支援しました。

新規認定された指導農業士は、「若者が農業を選択肢の一つとして考えられるよう、学生等のアルバイトを受け入れていく」「指導農業士として、地域の担い手の育成に努めていきたい」と決意を述べました。

農業改良普及課は、今後も指導農業士、関係機関と連携して、就農希望者の研修受入、独立就農に向けた技術習得、経営計画の作成などを支援していきます。

高品質みかんの生産に向けて ～ 「夢みかん」 現地研修会～



現地研修会の様子

8月14日、J A 高知県香美地区果樹部露地みかん部会が「夢みかん」の現地研修会を開催し、生産者4名が参加しました。

「夢みかん」はマルチ被覆栽培で一定の基準を満たした山北みかんの最高級ブランドで、今年度は5名の生産者が栽培に取り組む予定です。農業改良普及課は、マルチ被覆栽培のポイントや高温対策について説明しました。

生産者からは「今年は肥大が良い」「日焼け対策はどうしよう」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、露地みかんの高品質安定生産に向けて支援します。